

●鶏肉のチーズマヨ焼き



常食



軟菜食

鶏挽肉の中に卵や玉葱、山芋を加え、ふんわりと仕上げています。



ソフト食（ムース食）

主食の作り方同様、常食をミキサーにかけ、凝固剤を入れ、ムース状に固めています。

「食べたくなくなる食事」の提供

「食べたくなくなる食事」の提供をモットーに、厨房では一日約500食（朝・夕・夜240食）の食事を作っています。おいしいだけでなく、見栄えや食べやすい硬さや切り方（大きさ）などにも気を配っております。

今回は、咀嚼（噛むこと）が弱くなった方や、嚥下（飲み込み）に時間がかかる方などに適した食事を紹介します。

介護老人保健施設ケアセンター南大井

●粥ゼリー



対象：全粥の粒が気になり、粒を口から吐き出したり、粥から出る水分でむせてしまう方

全粥をミキサーにかけ、凝固剤を入れて、ゼリー状に固めた物。ゼリー状ですが、温かくして食べることもでき、ご飯の甘さ（でんぷん）も感じるができます。“つるっ”と口の中に入って行きます。

●パン粥ゼリー



対象：パン粥をうまく飲み込めない方
パン粥（パンを牛乳に浸し、火にかけた物）をミキサーにかけ、凝固剤を入れて、ゼリー状に固めた物。“ぶるん”とした食感で、口の中で溶けます。食事が進まない方の中には、このパン粥ゼリーだけは進むという方もおり、みなさんから「おいしい！」と好評です。



最近は、温かい物でも固まるという凝固剤があります。ミキサー食を固めて、成型して食卓に並べられたら、見栄えもグッとよくなりますよ！

*さくら会栄養室は、入所中の方に限らず、在宅での食事について、お困りになっている方のご相談もお受け致しております。お気軽にご相談下さい。

*さくら会のマーク

重なりあう花びらは、人と人が互いに尊重し、理解を深め合う利用者とさくら会とのより良い関係づくりを象徴しています。

「コミュニティ活動 始まる!」

大井林町高齢者住宅

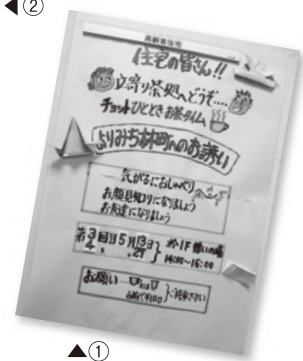
大井林町高齢者住宅にお住まいの皆さんは、入居してから東大井林町会の一員として、いろいろな行事に参加してきましたが、もっと身近な人との親しみを増やそうと、「コミュニティ活動を始めました。」

ひとつは、住宅内のご近所さんと『顔見知りになりましょう。お友達になりましょう』をコンセプトにした、月に2回のお茶会へよりみち林町です。呼び掛けのポスターも自分たちで作って、温かい雰囲気大切にしています。

(写真①・②)

もうひとつは、趣味を分かち合う「仙台坂コミュニティ」です。入居者のお知り合いの先生を迎えて、毎週木曜日に書道に精進しています。同じ趣味を持つ者同士、各々の技量向上も含め、切磋琢磨し楽しく頑張っています。

(写真③・④)



▲①



◀②



◀④



◀③

◆◆月見橋の家の家族会◆◆

月見橋在宅サービスセンターでは家族支援の一環として、毎月1回第3土曜日に「家族会」を開催しています。毎回、12名前後のご利用者のご家族に、お忙しい中、参加して頂いています。家族会は、家族同士や家族と職員が交流を深め、家族が本音で話せる場にした、家族と職員が連携して利用者のケアをしたい、という事を目的として行っています。

内容は1時間半を前半・後半に分けて、前半は「テーマ」に沿って、後半は参加者全員に自由にお話をして頂く「交流会」形式にしています。日頃から介護に対して悩んでいる事や自宅や月見橋での様子を話したり、「うちではこうしています。」とアドバイスをされる方がいたり、ご家族同士の情報交換の場となっています。家族会の前に、「一緒にランチをしてみました。」とご家族同士の交流を目のあたりにすると、とても嬉しく思います。

これからも「月見橋の家」がご家族同士の更なる交流を深められる場、心の拠り所となるように、ご家族の支援をさせて頂きたいと思っています。



お味はどうかしら?
(昼食の試食会)



手洗いは出来ていますか?
(食中毒予防について)

スライドを使っ
ての活動報告♪

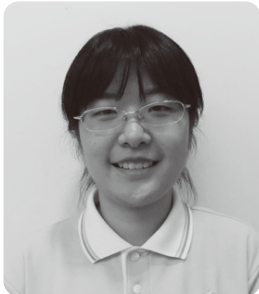


脱水予防の勉強会☆

職員紹介

4月に採用された職員をご紹介します

ケアセンター南大井3階に配属になりました村田麻祐実です。ご利用者の視点になって考えること、笑顔を大切に頑張りたいと思います。よろしくお願ひ致します。



ケアセンター南大井
介護職 村田 麻祐実



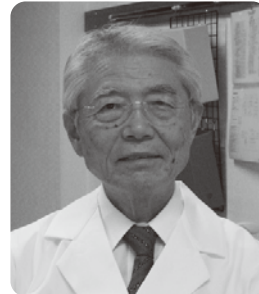
ケアセンター南大井2階に配属になりました中村伸朗と申します。まだまだ未熟者ですが、一生懸命学び成長したいと思ひます。よろしくお願ひ致します。



ケアセンター南大井
介護職 中村 伸朗



最近12年間は、母の介護もかねて、生まれ故郷である広島県三原市の山間部で開業していました。三原市では全ての診療にたずさわっていました。そのことが今回この施設で役に立つと考えています。よろしくお願ひ致します。



ケアセンター南大井
施設長 田坂 紀和



ケアセンター南大井2階に配属になりました篠小春と申します。笑顔と元気を大切に頑張っていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。



ケアセンター南大井
介護職 篠 小春



このたび、ケアセンター南大井通所リハビリに配属になりました林奈菜美です。言葉づかひや表情等、ご利用者様に対して失礼のない態度を心掛けます。また、ご利用者様のADLや特徴を把握し、安全を第一とした支援を行いたいです。



ケアセンター南大井通所リハビリ
介護職 林 奈菜美



4月より、大井林町高齢者住宅に配属されました松島純也です。これから色々な場面で皆様のお世話になると思ひます。よろしくお願ひ致します。



大井林町高齢者住宅
介護職 松島 純也



車椅子を頂きました！

3月25日に、大野二良様より車椅子18台を寄附して頂きました。

ピカピカのかわいらしいデザインの車椅子。新しい車椅子で、ご利用者の皆様も笑顔！笑顔！

施設内もとても華やかになりました。18台の車椅子は、ケアセンター南大井（老健）はじめ、南大井在宅サービスセンター、月見橋デイサービスセンターで使用させていただきます。

大野様の温かい思いやりに心より感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。



苦情解決・サービス向上委員会開催報告



6月5日(木)、第三者委員をお迎えし、平成25年度の1年間に法人へ頂いた苦情や要望、また、事故について報告をしました。

平成20年から第三者委員として出席頂いている松尾委員の他、今回から新たに西川委員、田尻委員に出席して頂きました。南大井事業部の苦情・要望の総件数は28件で昨年度の32件と比べ、若干減っています。苦情・要望では職員の態度・対応に関するものが全体の約7割を占めています。ご利用者やご家族とのコミュニケーションの行き違いから苦情・要望に繋がることが多く、日頃の声掛けややりとりの重要性を再認識いたしました。

事故は前年度より16件増えていますが、大部分はご利用者の状態の変化により、職員が救急対応したものです。なお、苦情・要望・事故とも、第三者への報告が必要な事例は無く対応している旨、報告しております。

委員からは認知症のご利用者の外出願望に対する施設での工夫について、質問や意見が交わされた他、お礼をいただくと職員の士気もあがり、益々やる気が出るのでは、とやさしい言葉もいただきました。

今後ともさらう会では皆さまから頂戴した苦情・要望について職員一同、真摯に向き合い、早期に対応、改善して参ります。何か、お気づきの事がございましたら、いつでもご意見をお寄せください。

お悔やみ申し上げます



平成23年12月より法人の評議員をおつとめいただき、3月に退任されました津久井國雄北浜川東町会会長が、5月25日に永眠されました。その紳士的でやさしいお人柄に職員一同、いつも癒されていました。生前のご厚情に深く感謝し、心より哀悼の意を表します。



職員リレー ⑭

前回に引き続き、今回も女性職員を紹介いたします。

大井林町地域密着型多機能ホーム
介護職 西 小百合

最近、趣味の一眼レフを新しくしたので早く慣れるため毎週末激写！頑張っています。被写体はもっぱら部活中の息子達。バスケのどんな動きでも見逃さないよう確実に撮れる事が目標です。これからもよろしくお願いたします。



「パシャ！」
今度は上手に撮れたかな〜♪

さらう会だよりの感想をお聞かせ下さい。
〒140-0013

品川区南大井5-19-1

社会福祉法人さらう会 編集委員会宛

次回の発行予定は、平成26年10月です。